

右谷山のカタクリ満開 2025.4.24

参加者：竹田、大藤（富）、大藤（博）3名

寂地峡駐車場からスタート。



この時期の寂地峡は水量が多いので、豪快な滝が見られる。急な階段の遊歩道を登り、一気に高度を上げていく。（五竜の滝）



竜頭の滝に差し掛かると、流れ落ちる水の音で会話が聞こえない。階段状の道は更に傾斜が強くなり、登りきると手掘りと思われるトンネルに入る。此処は盛夏の暑い時期でも涼しい風が吹いている。トンネル内は目が慣れるまでは、漆黒の世界になり前を歩く人が頼りの歩行になる。
※先頭を歩く人は、トンネルの出口が見えているので歩く事が出来る。



ミヤマカタバミ群生地附近の休憩所



ミヤマカタバミ 日が昇ると一斉に開花し始める。

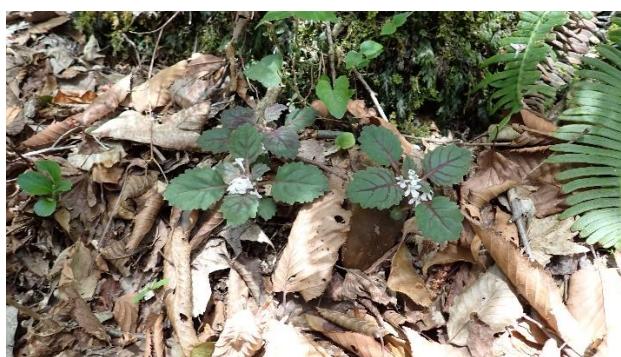
登山者グループが先行していたが、草花が見つかると先に進めなくなる。個々に撮影が始まる。エイザンスミレが登山道沿いに多く見られ始めた。意外と多い。私達は追い抜いて先に進んだ。



エイザンスミレ



キブシの花



ニシキゴロモ



シハイスミレ



ナツトウダイ



タチカメバソウ



エイザンスミレ



キンキヤマエンゴサク



溪流に沿って



エンレイソウ



ネコノメソウ

溪流から離れて、みのこし峠への急登が始まるとカタクリ群生地は近い。一気に高度を稼ぎみのこし峠へ。期待した通りカタクリの花が風に揺れていた。竹田さんは初めて700mを超える高度差を登った。少しずつ高い山へのチャレンジをしている。（木陰で暫し休憩した後、昼食。）



寂地山への縦走路へ進むと、カタクリの群生が広がっている。右谷山へは、帰りの時間を考えて省略した。みのこし峠でゆっくり昼食を摂って、ピストンで下山した。

寂地山へ縦走して行くグループも見られた。寂地山から犬戻し峠を経て寂地峠駐車場に戻る良いルートである。右谷山へ登り、木目の滝を経て宇佐神宮経由で周回するルートもある。宇佐神宮境内では杉の巨木が林立していて見ごたえがある。

帰りに、加計のたい焼きを買って、頬張った。いつもながら美味しい！！

安佐岳友クラブ 大藤